



手子林公民館だより

令和5年3月1日
発行 手子林公民館
電話 565-2668

新刊情報 ~公民館図書室からのお知らせ~

芥川賞

『この世の喜びよ』井戸川 射子 著
思い出すことは、世界に出会い直すこと。静かな感動を呼ぶ傑作小説集。喪服売り場で働く「あなた」は、フードコートの常連の少女と知り合う。

『荒地の家族』佐藤 厚志 著
あの災厄から十年余り、誰もが何かを失い、元の生活には決して戻らない。仙台在住の書店員作家が描く、止むことのない渴きと痛み。

直木賞

『地図と拳』小川 哲 著
ひとつの都市が現われ、そして消えた。満洲の名もない都市で繰り広げられる知略と殺戮。日本 SF 界の新星が放つ、歴史×空想小説。

『しろがねの葉』千早 茜 著
戦国末期から江戸初期の石見銀山を舞台に、銀堀の妻になった女性の一代記。生きることの官能を描き切った新境地にして渾身の大河長篇！

●「神戸」地名の由来

①地名「神戸」は「川渡」の転訛『埼玉県地名誌』に、「ゴウド」は、川処(カワド)または川渡(カワド)のことで、交通の要衝の意味であるとある。
いわゆる渡船場と思える。

②神戸三郎伝説

『新編武蔵風土記稿』には、「古え、神戸三郎といひし者、ここに住せしをもって村の名とす」とある。かつて、神戸三郎の霊を祭るために建立されたといわれている神戸神社があった。

『郡村誌』によると神戸神社は村の西北にあった。時は過ぎ、明治44年、豊武神社に合祀され、現在は、小祠のみとなっている。

神戸の小字名も、神戸三郎にちなみ、神戸三郎の館を中心に、「西」・「東」・「前」・「后(後)」と名付けられたといわれている。

また、地名「大膳組」は、神戸三郎に属して料理を受け持った大膳職の組といわれている。

《「羽生市の地名」 羽生須影

今むかし探究会 発行より》

- 交付できる証明 (各1通300円)
- ・住民票の写し
- ・印鑑登録証明書
- ・所得証明書
- ・所得課税証明書
- ・非課税証明書

○取り扱い日時

- ・毎週 水・木・金曜日(祝日及び休館日を除く)
- ・午前9時～午後5時
- ※申請には本人確認書類が必要(運転免許証など)
- ※印鑑登録証交付には「印鑑登録証(カード)」または、「市民カード」が必要です。

各証明書発行サービス

狂犬病予防注射のお知らせ

令和5年4月7日(金)

9:30~
10:30



はつらつ教室

3月8日(水)

午前10時~11時

健康運動教室

3月3日・10日・17日・24日

午前10時~11時30分

お知らせ

- ・4月8日(土)及び9日(日)は 埼玉県議会議員選挙 により
 - ・4月22日(土)及び23日(日)は 羽生市議会議員選挙 により
- “貸館停止”となります。

公民館 3 休館日

2023 March

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

○毎週火曜日・21日(春分の日)
22日(振替休館日)